＜山行報告＞

武尊山を岩峰経由で登る

【報告者】キーボウ
【日　時】2021 年 10 月 10 日（日）
【参加者】りりぃ、かなちん、キーボウ

【日本百名山の武尊山】

≪コースタイム≫
川場谷野営場登山口（7：00）～不動岳（９：00）～前武尊山（10：１５）～武尊山（１２：２０）～川場谷野営場登山口（１６：１５）

≪　報　告　≫
　八海山の後は新潟の北部にある 400mのスラブを持つ「御前ヶ遊窟」へと、阿賀町まで車を走らせた。何とか、近くのキャンプ場の駐車場でテントを張ることができた。かなちんとりりぃはマイカーで宿泊。僕だけテント。しかし、夜は結構な雨。９日は一応雨はやんだが、スラブ登りは無理だと判断して、武尊山を登るべく群馬県に移動。

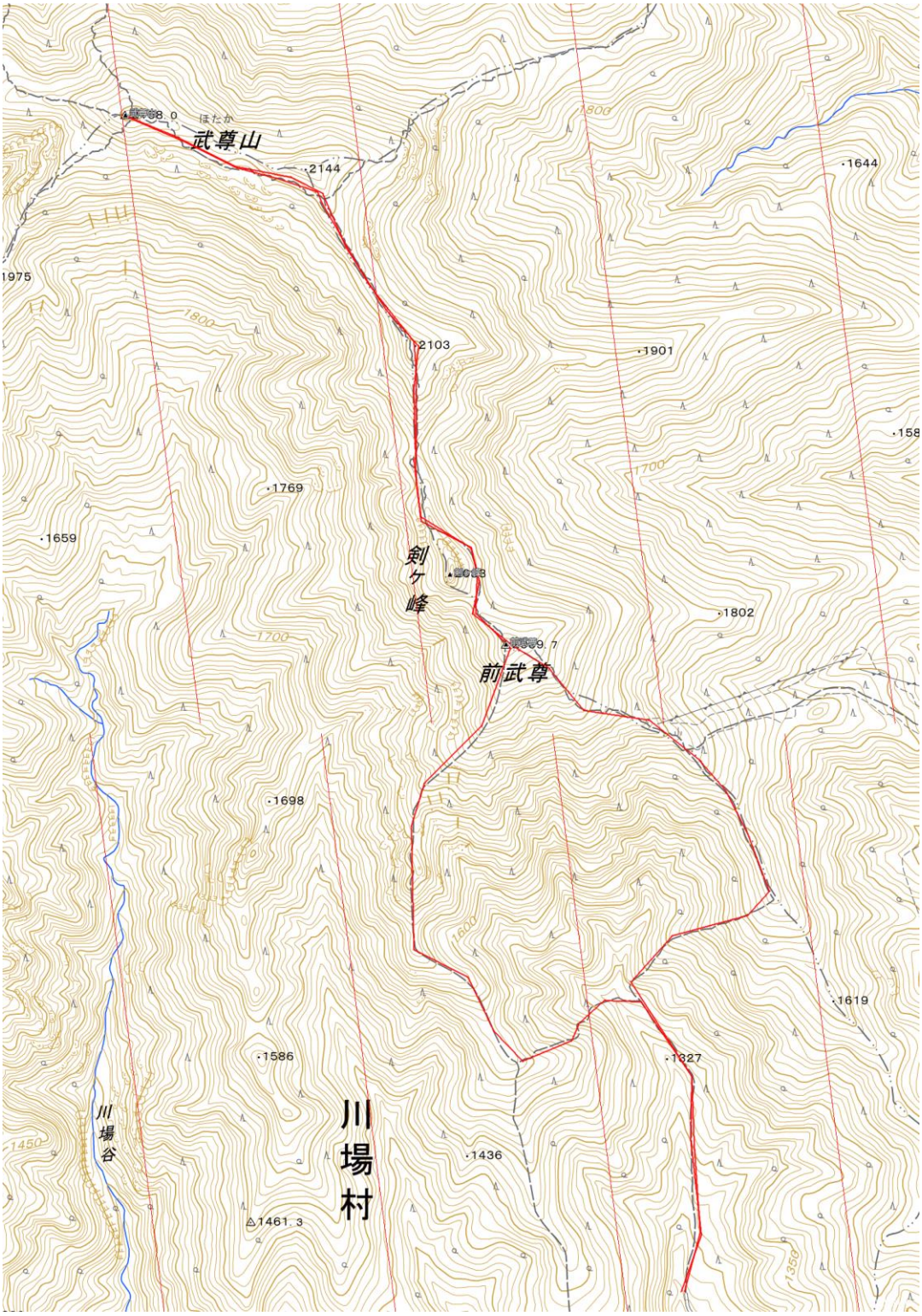
途中、「塩沢宿牧之通り」に立ち寄り、群馬県に入る。有名な道の駅「川場田園プラザ」に寄って、小住温泉で温泉に浸かり、武尊旭小屋を目指した。もう辺りは暗い。この辺りだと思って、車をわき道に寄せ前方を探すが見当たらない。その後、別のグループが来られたので彼らに従って行ってみた。手前に下る道があり川を渡るとすぐに見つかった。そのグループの方々は奥の部屋で泊まるの手前をどうぞと言われ、覗いてみたが黴臭が酷くメンバーの二人には耐えられないと思い、断念。川場谷野営場を目指すこととした。県道から左折すると砂利道。だが、なんとか野営場に到着。すでに多くのテントがあった。荒れた元管理棟でも泊まれるのではと思ったがトイレ臭が酷くここも断念。管理棟手前で二人は車中泊。僕はテント泊とした。管理棟の軒下で川場村で買ってきた食材で調理。ようやく夕食にありついた。夜中にかなり雨が降ったようだが、翌朝は良い天気。

７時頃にスタート。前武尊山を目指して出発。すぐに、不動岳経由の道が左に分岐する。もちろん、岩場のある不動岳方面に左折。沢を渡り急登を登りきり、尾根にたどり着くと、左手から旭小屋から尾根筋を登ってくるルートに合流。やがて、鎖場が出てきて不動岳が近いことが分かる、少し登ると右手の斜面に下降の鎖がありそれを伝って降りたが、あとから来たりりぃとかなちんはまだ上にルートがあるということでそちらに登る。なんと、それが不動岳の頂上のようだ。僕はエスケープルートを通ったようだ。すぐ先に不動岳からの下降の鎖場があった。それを、登ろうとしたけどまあいいかと思いスルー。基本、岩場の右側を通るルートがメイン

のようだ。岩場付近の紅葉はきれい。

似たような岩場を上り下りして、不動岳を抜ける。ここから、30 分くらい登りあがると前武尊山の山頂に到着。立派な日本武尊の像が祭られている。標高としては2000mを越えたが、2158mの武尊山（沖武尊）の山頂は遥か彼方だ。

まずは、川場剣ヶ峰が手前にそびえる。これは、東側を巻くようにルートがつけられている。次は家の串というピーク。この登りも結構ある。更に、中ノ岳分岐を過ぎ池塘のある所を過ぎるが、どろどろで靴はぐちゃぐちゃに。やがて、また日本武尊の像が見えてきたのでそこが山頂と思いきや山頂は更に奥だ。中途半端なところに像があるもので意味不明。ようやく、本当の武尊山の山頂に。北側の武尊神社からの登山者の方が圧倒的に多いようだ。
山頂標識は三つの山のような形をしていたようだが真ん中の三角が折れている。
展望も望めないので早々に帰途に就く。前武尊までの道のりは行と同じくらい疲れる。前武尊山からはスキー場登山口のある一般道経由で川場谷野営場登山口に戻った。
久々の 1000m超の標高差の登山で結構疲れた。ここはトレランコース（上州武尊スカイビュートレイル）もあるようだ。あまり登る機会のない山に登れて満足でした。
りりぃ、かなちん、岩場コースを楽しめたでしょうか。


武尊山
ほたか
2144
1975
1800
2103
1901
1644
1769
1659
剣ケ峰
1700
1802
前武尊
1698
1600
1619
1586
1327
川場谷
川場村
1450
1436
1461.3
1350